

(4) 南 関 東



南関東地域では、景気は一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調が続いている。

- ・ 鉱工業生産は持ち直しの動きがみられる。
- ・ 個人消費は底堅く推移している。
- ・ 雇用情勢は着実に改善している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す (は上方に変更、 は下方に変更)。

前回調査からの主要変更点

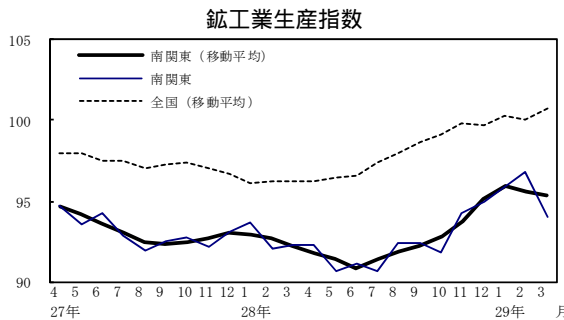
	前回 (平成 29 年 2 月)	今回 (平成 29 年 5 月)
景況判断	弱さがみられるものの、緩やかな回復基調	一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調
個人消費	足踏み	底堅く推移

1. 生産及び企業動向

(1) 鉱工業生産は持ち直しの動きがみられる。

1～3月期には、石油・石炭、化学、プラ製品は増加した。輸送機械は小型車等を中心に増加した。電子デバ、電気・情報通信は、ネットワーク接続機器やデスクトップ型パソコン等が減少したことにより減少した。鉄鋼業、非鉄金属、金属製品は増加した。汎・生産・業務用機械は、蒸気タービン部品等が増加したこと等により増加した。

域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)



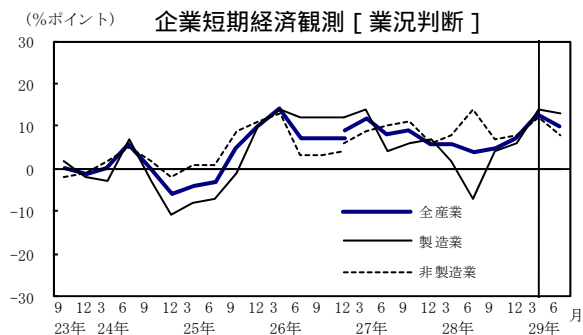
- (備考) 1. 22年=100、季節調整値。最新月はお速報値。
 2. 全国及び南関東の太線は中心3か月移動平均。直近月は、2か月平均。
 3. 南関東は内閣府にて算出。

	付加価値 ウェイト	生産				
		10～12 月期	1～3 月期	1月	2月	3月
石油・石炭、化学、プラ製品	29.1	1.3	4.4	4.3	▲1.8	▲3.4
輸送機械	17.6	4.6	2.7	▲2.4	6.3	▲1.1
電子デバ、電気・情報通信	14.7	1.1	▲1.8	▲2.7	0.9	▲7.1
鉄鋼業、非鉄金属、金属製品	10.8	1.6	0.1	▲1.6	2.0	▲2.9
汎・生産・業務用機械	9.3	4.1	3.1	5.5	0.1	▲2.2
鉱工業	100.0	2.0	2.0	0.9	0.9	▲2.9

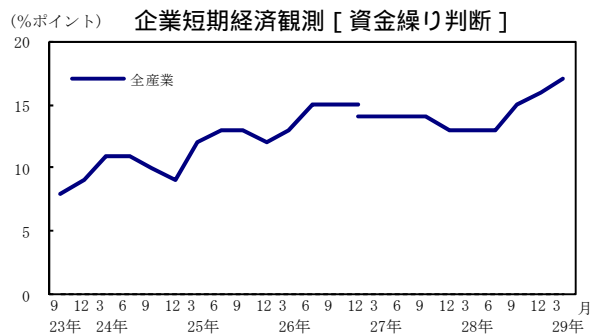
- (備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。
 2. 1～3月期、3月はお速報値。速報値において化学は医薬品を除いたもの。

(4) 南関東

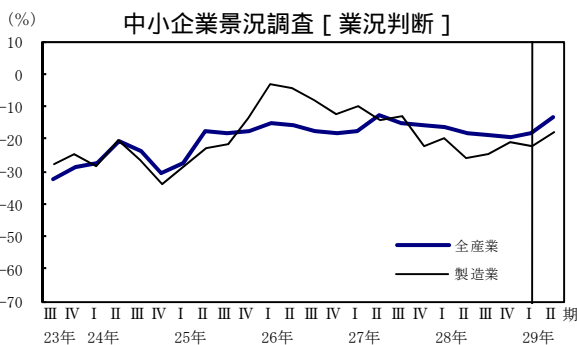
(2) 業況判断は「良い」超幅が拡大し、資金繰り判断は「楽である」超幅が横ばいとなっている。
企業短期経済観測調査及び中小企業景況調査



(備考) 「良い」 - 「悪い」回答者数構成比。29年6月は予測。
26年12月は新・旧基準を併記。
日本銀行横浜支店管内。



(備考) 「楽である」 - 「苦しい」回答者数構成比。
26年12月は新・旧基準を併記。
日本銀行横浜支店管内。

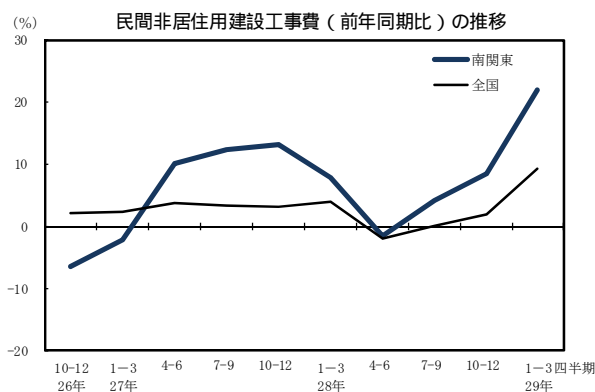


(備考) 「好転」 - 「悪化」回答者数構成比。29年II期は見通し。

景気ウォッチャー調査 (4月調査結果)[企業動向関連(現状)]

「得意先、同業者、材料屋等の状態からみて、極めて順調でスムーズにしている(その他製造業[靴])」等の回答がみられた。

(3) 設備投資の民間非居住用建設工事は大幅に増加している。



企業短期経済観測調査 [設備投資(3月調査)]

	(前年度比、%)	
	28年度実績見込み	29年度計画
全産業	27.8(0.8)	▲10.8
製造業	24.5(▲6.1)	▲1.6
非製造業	32.7(12.3)	▲23.7

(備考) () は前回(12月)調査比修正率。
日本銀行横浜支店管内。

2. 需要の動向

(1) 個人消費は底堅く推移している。

地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

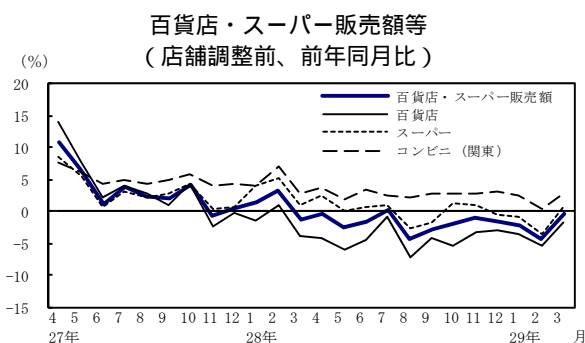
1月は前月比0.4%増、2月は同0.6%増、3月は同0.3%増となった。

百貨店・スーパー販売額

百貨店・スーパーは、1月は気温高の影響で冬物の「衣料品」等の動きが鈍かったことから前年を下回った。2月は、「飲食料品」や「衣料品」が前年を下回ったこと等により前年を下回った。3月は、「その他の商品」等が前年を上回ったものの、平年に比べ気温が低かったことにより春物の「衣料品」等の動きが鈍かったことから前年を下回った。

景気ウォッチャー調査 (4月調査結果) [家計動向関連 (現状)]

「4月に入り来客数が10%近く伸びている。ターミナル立地なので駅利用客が増加していることと、メディアでの取り上げが多く、その反響が大きい (百貨店)」等「良くなっている」とする回答が増加した。



	29年1-3月	29年1月	2月	3月
RDEI (消費*1)	0.5	0.4	0.6	0.3
百貨店・スーパー(*2)	▲2.3	▲2.2	▲4.3	▲0.5
百貨店(*2)	▲3.5	▲3.7	▲5.3	▲1.7
スーパー(*2)	▲1.3	▲0.9	▲3.6	0.5
コンビニ(*2)	1.9	2.6	0.4	2.7
乗用車(*3)	8.6	6.8	8.3	9.9
(季節調整値) (*3)	▲2.0	▲4.0	1.7	▲1.7

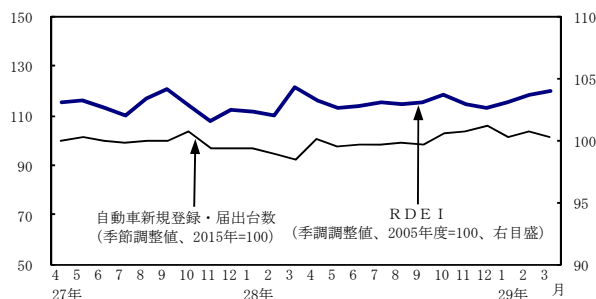
(備考) 1. 季節調整済前期(月)比 (%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)

百貨店・スーパー及び百貨店、スーパーは関東経済産業局の東京圏 (埼玉、千葉、東京、神奈川) の値。
コンビニは、経済産業省の関東 (茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、山梨、長野、静岡) の値。

3. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比(%))

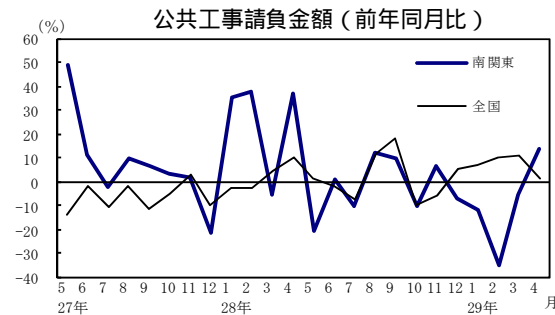
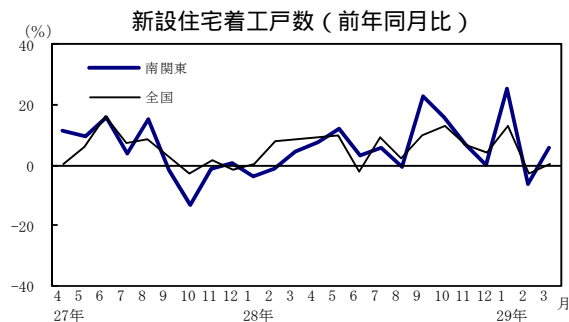
RDEI (消費) と自動車新規登録・届出台数の推移



(2) 住宅建設は増加している。

貸家、分譲が前年を上回ったことから、全体では増加している。

(3) 公共投資は28年度累計で見ると前年度とほぼ同水準となっている。



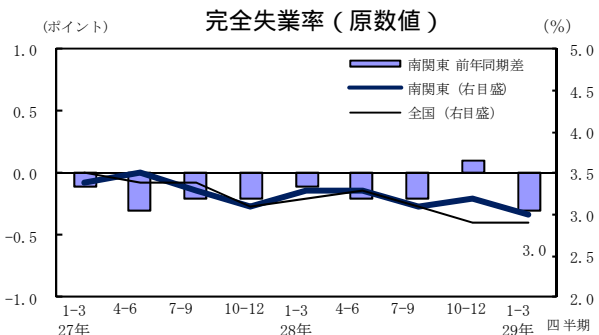
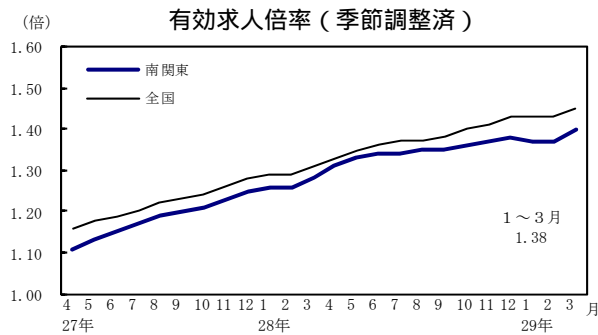
(4) 南関東

3. 雇用情勢等

(1) 雇用情勢は着実に改善している。

有効求人倍率及び完全失業率

有効求人倍率は上昇している。完全失業率は前年同期を下回っている。



景気ウォッチャー調査(4月調査結果)[雇用関連(現状)]

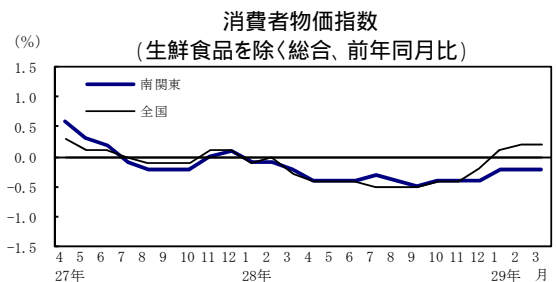
「当社、周辺企業共に、新卒採用を行っている企業が多い。定期採用をしていない企業でも、今年は新卒を採用したという話も耳にしている(求人情報誌製作会社)」等の回答がみられた。

(2) 企業倒産は、件数、負債総額ともに増加している。

(3) 消費者物価指数は前年比の下落幅が縮小している。

企業倒産

	(件、億円、%)				
	28年4-6月	7-9月	10-12月	29年1-3月	29年4月
倒産件数 (前年比)	677 ▲9.5	710 5.3	730 ▲5.6	721 4.0	256 11.3
負債総額 (前年比)	984 ▲32.0	1,130 ▲58.5	1,194 ▲71.7	1,509 3.1	328 ▲1.0



(備考) 南関東は内閣府にて算出。

景気ウォッチャー調査(4月調査結果)[合計(特徴的な判断理由)]

<現状>

- ・オフィスビルの1~2階に飲食店があるが、ここ3か月間の売上が各店舗共に軒並み伸びているため、景気は上向いている(不動産業)。

<先行き>

- ・中途採用計画を変える企業や、新卒採用を大きく減らすという企業はあまり聞かない(民間職業紹介機関)。

景気ウォッチャー調査(季節調整値)

